



もち花で豊作祈願

2月7日、大正ロマン館上の三宅家で、大正村とモガ・サロン主催のもち花作りが行われました。もち花とは、竹に小さく切った紅白のもちを稲穂に見立てて付け、豊作祈願として家々に飾るものです。明智町では古くは旧正月の農家のお祭りとして行われており、代々伝わる行事を次世代に残そうと始めました。この日も、子どもから大人まで大勢が参加し、豊かに実った稲穂のようなもち花が出来上がりました。

花の少ないこの季節、もち花が華やかに咲きました



昔の遊びは世代をつなぐ

1月28日、明智小学校の1年生が生活科の授業の一環として、おじいちゃんおばあちゃんを招き、「昔の遊び交流会」を行いました。教室ではこま回しや百人一首、お手玉など、運動場では竹とんぼやゴムとびなどをして遊び、おじいちゃんおばあちゃんたちは童心に帰って楽しんでいました。子どもたちも「最初はできなかったことが、教えてもらったらできるようになってうれしかった」と笑顔がいっぱいあふれていました。

真剣な表情で、あやとりを教わる

体験！恵那みそ作り

2月9日、恵那みその寒仕込み講座が、武並町竹折のむつみマニファクトリーで開催され、21人が参加しました。恵那の味・伝承講座の特別版として開催された講座は、煮た大豆にこうじ菌を混ぜ、すりつぶした材料を空気抜きのためたるの中に勢いよく投げ入れる作業でほぼ完了。作業の後は、施設の見学、温かい甘酒をいただきました。

この日仕込んだみそは、10カ月後に蔵出しを行い、各食卓に並びます。

材料をよく混ぜて、おみそがおいしくできますように



シルバーも統合へ

1月27日、市役所でシルバー人材センター合併契約・協議調印式が行われました。新市誕生に伴い、串原を除いて旧5市町にある各シルバー人材センターを統合するもので、合併の期日は本年4月1日、名称は社団法人恵那市シルバー人材センターとすることなどが確認されました。合併協議会長を務める恵那市シルバーの山本照夫理事長は「自主・自立・共働・共助を基本理念に、輝かしいシルバー作りにまい進する」と決意を述べていました。

合併契約書、協議書に署名する各シルバーの会長ら



防災まちづくり大賞を報告

昨年8月、旧恵那市で行われた「家具転倒防止ボランティア作戦」が、消防庁の防災まちづくり大賞を受賞しました。約9百人の市民が参加して一人暮らしの高齢者など142世帯の家具を器具で固定した活動が評価されたもの。2月10日に実行委員会が市役所を訪れ、市長に受賞を報告しました。市長は「皆さんの努力が国にも認められました。広くなった恵那市全体に波及するよう、さらに努めていきましょう」と労をねぎらいました。

消防科学総合センター理事長賞の表彰状を披露



各団体が事例を発表

恵那文化センターで2月5日、生涯学習事例発表会が行われ、各地域や学校などで取り組まれている生涯学習活動が紹介されました。今年は「広げよう生涯学習一人から地域へ 地域からまちづくりへ」をテーマに、4団体が事例を発表。小学校理科部会の丸山晴男さんの実験やものづくりによって生活と結びついた子どもサイエンス講座の発表などに来場した約150人の方たちは、熱心に耳を傾けていました。

石仏調査を通して仲間の良さを発表する川上又美さん



お米とお茶を詳しく知ろう

共同福祉会館で、青年会議所主催の食育フェア「お米とお茶のソムリエコンクール」が2月20日に開催されました。会場では、お米やお茶を食べ比べて銘柄を当てる「ソムリエコンクール」やおにぎりの早握り競争、マイ塩作りなどが行われ、大勢の親子連れなどでにぎわいを見せました。1回目のお米のソムリエコンクールには30人が参加し、みんなが見守る中、5人が見事全問正解。会場から大きな拍手が送られました。

4種類のお米を食べ比べて、品種を当てるコンクール

心和ますおひなさま

中山道ひし屋資料館でひな祭り展が開催され、見る人を和ませています。展示は中野方町の皆さんから協力を得て、おひな様を中心に約190点が歌舞伎、歴史、伝説などのテーマで展示されています。御殿びな、土びなをはじめ、少し珍しいおがくずをニカワで固めたひな人形などが資料館の空間にマッチ。この展示は3月13日まで開催されます。また5日には、中野方保育園の園児によるちびっこ音楽会も計画されています。

色とりどりの土びなが見る人を和ませる



郷土の偉人の教えを今に

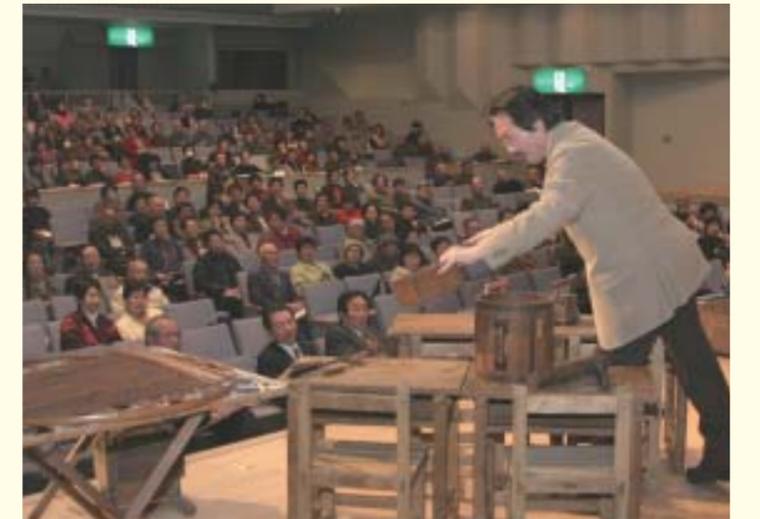
2月11日、岩村公民館で第2回下田歌子エッセー賞の表彰式と記念フォーラムが開かれました。エッセーは、岩村町出身で女子教育の先駆者、下田歌子の生誕150年を記念して全国から公募。一般の部、中学・高校生の部・小学生の部合わせて345点の応募がありました。表彰式後には、作家の童門冬二さんと飯塚幸子実践女子大学長、鈴木隆一市教育委員によるフォーラムが開かれ、「家庭教育で大切なこと」が話し合われました。

フォーラムでは飯塚学長から歌子の家庭教育観が紹介された

古道具で回想法を実演

2月12日、明智かえでホールで「いま、注目の回想法」と題し市民のための介護予防セミナーが開催され、約300人の皆さんが参加されました。セミナーでは、回想法が薬物を使わない認知症の療法として注目されており、大正村の古い道具やボランティア活動が回想法に適した環境であることなど、具体的な実演を通して、楽しく分かりやすく説明されました。また、市での具体的な取り組みが「想い出学校梅組」として紹介されました。

「この道具は何ですか？」と質問し、回想法を実演



長年の功績をたたえて

昨年、市内で叙勲を受章された2人の合同祝賀会が2月23日、恵那峡グランドホテルで開催されました。

受章されたのは、旭日中綬章（地方自治功労）の伊藤延秀さん（大井町）と瑞宝単光章（消防功労）の田中三雄さん（大井町）の2人。

祝賀会には約180人が出席し、長年の功績をたたえ受章を祝いました。2人は、受章の喜びとお礼の言葉を述べられました。

お祝いの花束を受ける伊藤さんⓐと田中さんⓑ



みどり 水土里ネットが優秀賞

農村振興に積極的に取り組む団体に与えられる、全国農村振興技術連盟の農業農村整備事業広報大賞優秀賞に水土里ネットえな（えな土地改良区・伊藤祐道理事長）が選ばれ、2月15日、市長に報告しました。水土里ネットえなは、平成13年5月に発足。地域で行う事業を支援する水土里ネットえなサポート隊、恵那農高生徒らが参加して農道のコンクリート舗装をした「手づくり公共事業」などの活動が評価され受賞となりました。

優秀賞の受賞報告をする水土里ネットえな伊藤理事長